

Aerophone GO

取扱説明書



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

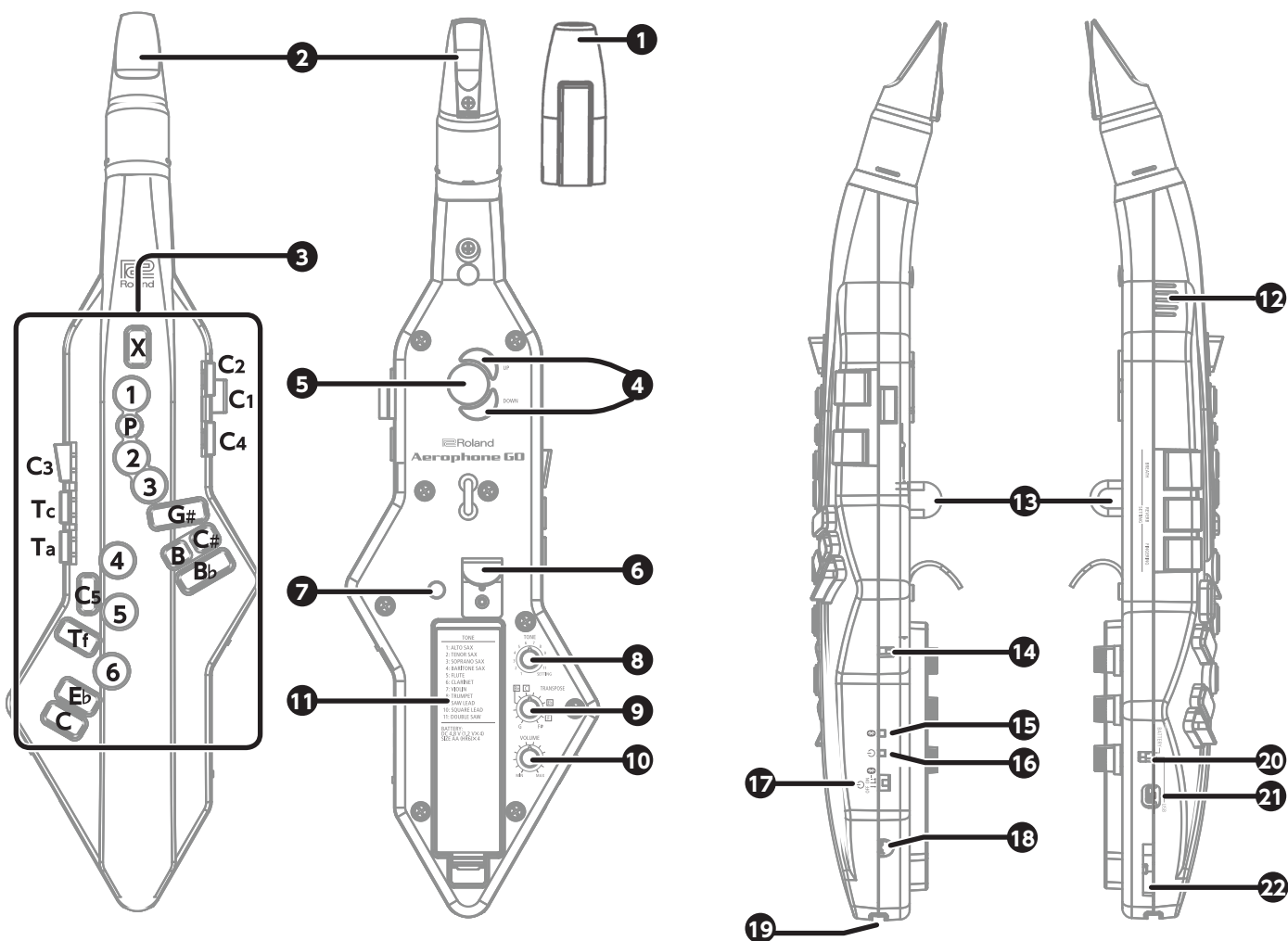
目次

各部の名称とはたらき	2
付属の USB ケーブルを接続する	3
音を出すための準備	4
電源の設定	4
電源を入れる	4
バンドを巻く	4
ネック・ストラップをつける	4
基本キーを選ぶ	5
音色を選ぶ	5
その他の準備	5
ヘッドホン／外部スピーカーに接続する	5
モード設定を変更する	5
演奏する	6
構えかた	6
マウスピースのくわえかた	6
親指の使いかた	6
演奏キーの押さえかた	6
音の出しかた	6

設定を変更する	7
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	7
スマートフォンと連携して使う	8
こんなことができます	8
設定手順	8
スマートフォンで再生した音楽に合わせて Aerophone GO を演奏する	8
スマートフォンから Aerophone GO の設定をしリアブリ音源を鳴らしたりする	8
Bluetooth 接続できないときは?	9
資料	9
マウスピースのお手入れ	9
主な仕様	9
安全上のご注意	10
使用上のご注意	11

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.10）と「使用上のご注意」（P.11）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき



① マウスピース・キャップ

マウスピースを保護します。演奏しないときは、マウスピース・キャップをはめてください。リードに当たらないように注意して、カチッという音が鳴るまで押し込みます。

② マウスピース

リードと一体になった、Aerophone GO 専用のマウスピースです。

➔ 「マウスピースのくわえかた」(P.6) をご覧ください。

③ 演奏キー

演奏用のキーです。サクソと同じ運指で演奏することができます。

➔ 「演奏キーの押さえかた」(P.6) をご覧ください。

④ オクターブ・キー

オクターブを切り替えます。左手の親指で操作します。

1 オクターブ上げたり、下げたりすることができます。

また、各種設定の設定値を選ぶときに使います。

➔ 「親指の使いかた」(P.6) をご覧ください。

➔ 「設定を変更する」(P.7) をご覧ください。

⑤ サム・レスト

左手の親指を添えます。

➔ 「構えかた」(P.6) をご覧ください。

⑥ サム・フック

フックの下側に右手親指を置きます。

➔ 「構えかた」(P.6) をご覧ください。

⑦ サム・ボタン

ベンド・アップ（ピッチ上げる）またはベンド・ダウン（ピッチ下げる）します。

➔ 「親指の使いかた」(P.6) をご覧ください。

⑧ [TONE] つまみ

音色を選びます。つまみを回して音色「1」～「11」を切り替えます。「SETTING」にすると、設定モードになります。

➔ 「音色を選ぶ」(P.5) をご覧ください。

➔ 「設定を変更する」(P.7) をご覧ください。

⑨ [TRANSPOSE] つまみ

基本キー（「ド（C）」の運指にしたときに鳴る音）を選びます。アルト・サクソと同じ基本キーで演奏する場合は、「E b」の位置にします。

➔ 「基本キーを選ぶ」(P.5) をご覧ください。

⑩ [VOLUME] つまみ

音量は、演奏時の息の強さで調節しますが、[VOLUME] つまみで全体の音量を調節することもできます。

内蔵スピーカーと、PHONES/OUTPUT 端子に接続した機器からの音量が変わります。

11 電池ボックス

Aerophone GO を電池で使用するときは、充電式ニッケル水素電池（単 3 形）を 4 本入れてください。

➔ 「電源の設定」(P.4) をご覧ください。

12 内蔵スピーカー**13 ストラップ・リング**

ネック・ストラップを取り付けます。

➔ 「ネック・ストラップをつける」(P.4) をご覧ください。

14 バイト・コントロール・スイッチ

バイト・コントロールのオン／オフを切り替えます。

オンのときは、マウスピースをくわえる強さでピッチをコントロールできます。オフのときは、自動で自然なビブラートがかかります。

15 Bluetooth LED（青色）

LED の表示で、Bluetooth の接続状況を確認できます。

点灯	Bluetooth 接続済み
点滅	Bluetooth 接続待ち
消灯	Bluetooth オフ

16 電源 LED（オレンジ色）

LED の表示で電源のオン／オフと、電池の残量を確認できます。

点灯	電源オン
点滅	電池の残量が少ない
消灯	電源オフ

17 [ON] スイッチ

電源のオン／オフと、Bluetooth オンを切り替えます。

➔ 「電源を入れる」(P.4) をご覧ください。

18 PHONES/OUTPUT 端子

ヘッドホンまたは外部スピーカーに接続します。

➔ 「ヘッドホン／外部スピーカーに接続する」(P.5) をご覧ください。

19 ウォーター・ドレイン

水滴が出ます。柔らかい布で拭いてください。

20 パワー・セレクト・スイッチ

Aerophone GO を、電池で使うか USB AC アダプターからの給電で使うかを選びます。

➔ 「電源の設定」(P.4) をご覧ください。

21 USB 端子

Aerophone GO を USB AC アダプターからの給電で使用する場合は、付属の USB ケーブル（タイプ A）を接続します。

Android スマートフォンで専用アプリを使用するときに、音の遅れが気になるときは付属の USB ケーブル（マイクロ B、またはタイプ C）で接続します。

※ 付属の USB ケーブル以外使用しないでください。

➔ 「電源の設定」(P.4) をご覧ください。

➔ 「スマートフォンと連携して使う」(P.8) をご覧ください。

22 コード・フック

USB ケーブルを使うときは、コード・フックにコードを固定します。

➔ 「コード・フックに固定する」(P.3) をご覧ください。

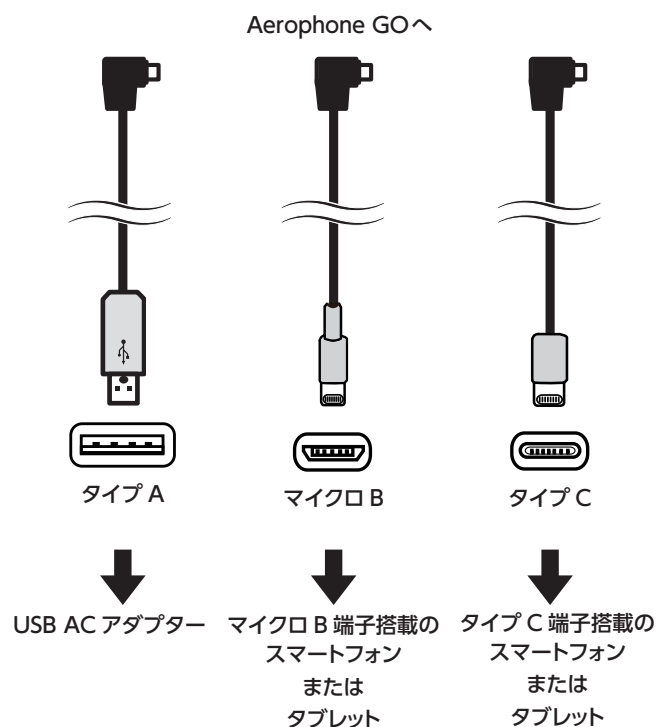
付属の USB ケーブルを接続する

Aerophone GO を USB AC アダプターからの給電で使う場合や、スマートフォンにインストールした専用アプリと有線で接続する場合に使います。

※ USB ケーブルの取り扱いにご注意ください。唾液が USB ケーブルを伝って USB AC アダプター内部に入ると、故障や感電の原因となります。

付属 USB ケーブルの種類と用途は以下のとおりです。

USB ケーブルの種類	用途
タイプ A	Aerophone GO を、USB 端子に接続した USB AC アダプターからの給電で使用します。
マイクロ B	Android スマートフォンで専用アプリを使用するときに、音の遅れが気になるときは USB ケーブルで接続します。
タイプ C	

**コード・フックに固定する**

USB ケーブルを使う場合は、図のようにコード・フックに固定してください。

誤ってコードが引っ張られてプラグが抜けることや、端子に無理な力がかかることを防げます。



音を出すための準備

電源の設定

Aerophone GO は、電池または USB AC アダプターからの給電で動作します。使う電源によってパワー・セレクト・スイッチを切り替えます。

電源	パワー・セレクト・スイッチ
電池	「BATTERY」側にします
USB AC アダプター	「USB」側にします

ご注意！

USB ケーブルで接続した Android スマートフォンでアプリを使う場合は、パワー・セレクト・スイッチを「BATTERY」側にして電池駆動でお使いください。
「USB」側にしてしまうと、スマートフォンのバッテリーを消費させるなど、うまく動作しない場合があります。



電池で使う場合

充電式ニッケル水素電池（単 3 形）を 4 本入れます。
約 10 時間演奏できます。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の寿命は、電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。
- ※ 電池の残量が少なくなったときは、電源 LED（オレンジ色）が点滅します。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」（P.10）「使用上のご注意」（P.11）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

USB AC アダプターからの給電で使う場合

Aerophone GO の USB 端子に、付属の電源用 USB ケーブル（タイプ A）と USB AC アダプターを接続します。

電池切れの心配がなく、演奏できます。

- ➔ 「付属の USB ケーブルを接続する」（P.3）をご覧ください。



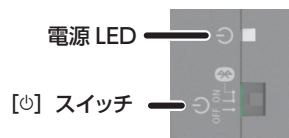
ご注意！

必ず付属品の電源用 USB ケーブル（タイプ A）を使用してください。また、プラグ部分を持って抜き差ししてください。

電源を入れる

【】スイッチを「ON」にします。スマートフォンにインストールしたアプリと連携して使う場合は、【】の位置にします。

電源 LED の表示で電源のオン／オフを確認できます。



ご注意！

マウスピースは、電源投入時に感度を自動調整します（本機はシステムの起動に 7 秒程度かかります）。そのため、**電源スイッチを入れるときには、マウスピースをくわえたり手で触れたりしないでください。**

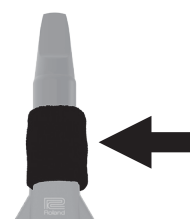
OFF	電源オフ
ON	電源オン
	Bluetooth 機能がオンになります。スマートフォンにインストールしたアプリと使うときは、この位置にします。

- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、アプリからの操作で Auto Off 機能を解除してください。電源を再びオンにするときは、【】スイッチを一度「OFF」の位置にしてから、再び「ON」の位置にしてください。

- ※ 電源スイッチを「OFF」にした場合は、電源 LED が点滅してシャットダウン処理を行ないます。LED が消灯するまで電池をはずしたり、USB AC アダプターを抜いたりしないでください。

バンドを巻く

長時間演奏を続けると唾液が垂れ、本体を伝って【】スイッチや各種キー周辺から内部に侵入する恐れがあります。付属のバンドを図のように巻いてお使いください。



ネック・ストラップをつける

ストラップを首にかけて、ストラップのフックを Aerophone GO のストラップ・リングに取り付けます。



基本キーを選ぶ

サクスは移調楽器です。楽譜上の音（記音）と実際に鳴る音（実音）が異なります。アルト・サクスの場合は楽譜上の「ド（C）」は実音では「E ♭」になります。

1. 基本キー（「ド（C）」の運指にしたときに鳴る音）を、**[TRANPOSE]** つまみで選びます。

たとえば、アルト・サクス／バリトン・サクスと同じ運指で演奏する場合は「E ♭」（+3）、ソプラノ・サクス／テナー・サクスと同じ運指で演奏する場合は「B ♭」（-2）の位置にします。

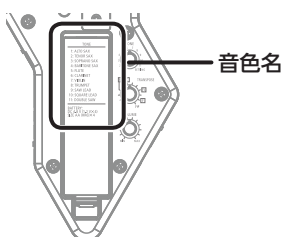
音色を選ぶ

音色は、**[TONE]** つまみで「1」～「11」を選びます。

音色リスト

No	音色名	説明
1	ALTO SAX	アルト・サクス
2	TENOR SAX	テナー・サクス
3	SOPRANO SAX	ソプラノ・サクス
4	BARITONE SAX	バリトン・サクス
5	FLUTE	フルート
6	CLARINET	クラリネット
7	VIOLIN	バイオリン
8	MUTE TRUMPET	ミュート・トランペット
9	SAW LEAD	シンセサイザー音色
10	SQUARE LEAD	
11	PERCUSSION	打楽器、ティンパニ ➡ 運指と音色の割り当てについては、巻末の「[PERCUSSION] アサイン」をご覧ください。

※ **[TONE]** つまみの番号と、音色リストの音色名が対応しています。音色名は、楽器本体の電池蓋にも記載しています。



その他の準備

必要に応じて以下の準備をします。

ヘッドホン／外部スピーカーに接続する

Aerophone GO は、内蔵スピーカー搭載のため本体だけで音を鳴らすことができます。ヘッドホンや外部スピーカーに接続する場合は、PHONES/OUTPUT 端子に接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

ヘッドホン

Aerophone GO の内蔵スピーカーから音が出ないため、夜間の練習などに便利です。



外部スピーカー

大音量で鳴らせるため、ライブで大人数を前に演奏する場合などに便利です。

モード設定を変更する

息の強さと音の鳴りかた、音の響きの深さ、運指タイプを変更する場合は、ここで選びます。

➡ 設定のしかたについては、「設定を変更する」（P.7）をご覧ください。

演奏する

構えかた

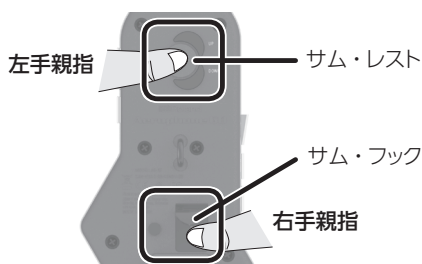
1. ネック・ストラップを

Aerophone GO のストラップ・リングに取り付けて、図のように構えます。



2. 左手の親指をサム・レストに、右手の親指をサム・フックの下にあてます。

楽器を、右親指・上の歯・ストラップの3点で支えます。

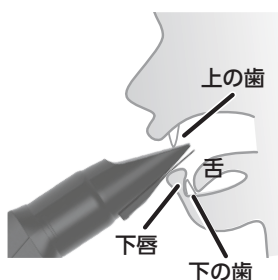


マウスピースのくわえかた

上の歯と下唇でマウスピースを軽くくわえ、息を吹き込みます。

- タングイング（舌を使って息をコントロール）やレガート演奏をすることで、より豊かな表現ができます。
- リードをくわえる強さによって、ピッチをコントロールできます。

※ 演奏時に唾液が垂れてくる場合は、乾いた布でこまめに拭き取ってください。



親指の使いかた

オクターブ・キー

オクターブを切り替えます。
1 オクターブ上げたり、下げたりできます。左手の親指で操作します。



サム・ボタン

ベンド・アップ（ピッチ上げる）またはベンド・ダウン（ピッチ下げる）します。

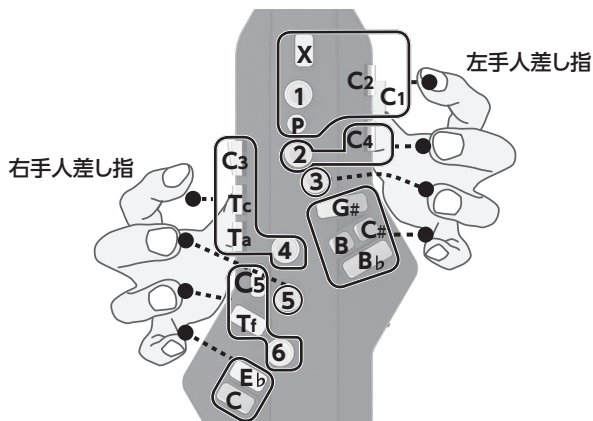
※ ベンド・アップするかベンド・ダウンするかは、音色ごとに設定されており、変更することはできません。

サム・ボタン

演奏キーの押さえかた

演奏用のキーです。サクソと同じ運指で演奏することができます。

➔ 運指については、巻末の「運指表」をご覧ください。

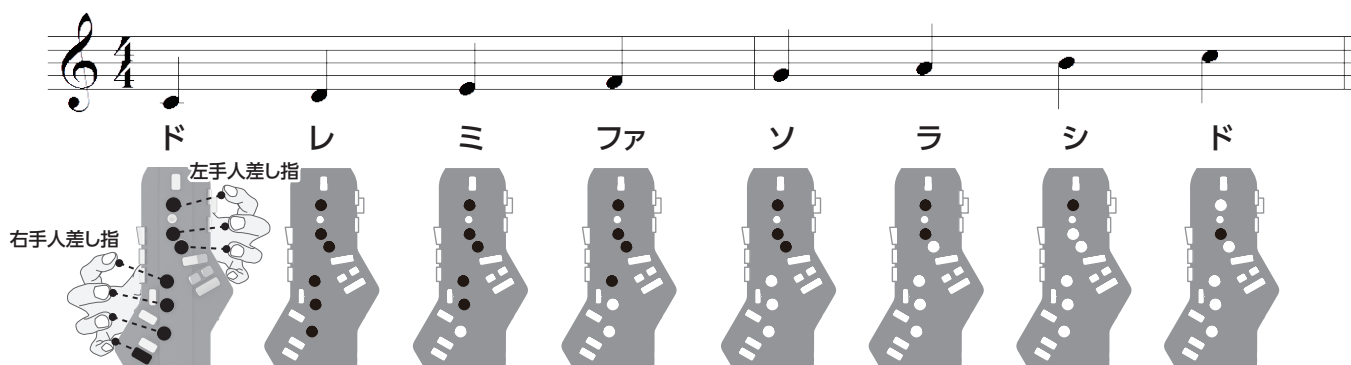


※ サイドのキー（C1～C4、Tc、Ta）は手の内側で押さえます。

音の出しかた

まずはサクソ運指で、ドレミファソラシドを吹いてみましょう。

息をしっかりと吸ってから、楽器全体に送り込むように吹き込みます。



➔ 運指については、「運指表」（巻末）をご覧ください。

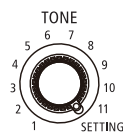
設定を変更する

息の強さと音の鳴りかた（ブレス・カーブ）、音の響きの深さ（リバーブ・レベル）、運指タイプを選びます。

1. [TONE] つまみを「[SETTING]」の位置にします。

設定モードになります。

※ 設定モードのときは、演奏すると直前に鳴らしたトーンが鳴ります。



3. オクターブ・キーで設定値を選びます。

「ピツ」という音が、設定値の数だけ鳴ります。

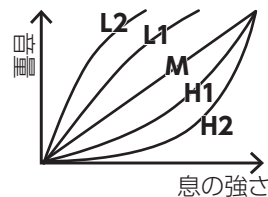
※ 設定した値は自動で保存されます。電源を切っても次に電源を入れたときに記憶しています。

4. [TONE] つまみを回して、設定モードから抜けます。

2. 設定したい項目に対応するサイド・キーを押します。

現在の設定値の数だけ「ピツ」という音が鳴ります。

設定	サイド・キー	設定値	説明
ブレス・カーブ	[C3]	1 L2	息の強さと音の鳴りかたを設定します。
		2 L1	L2、L1 管楽器初心者や肺活量に自信のない方にお薦めです。弱く吹いてもフォルティシモ (ff) が出せます。
		3 M	
		4 H1	M 実際の管楽器に一番近い設定です。
		5 H2	H1、H2 サックス奏者の方にお薦めです。より強く吹かないとフォルティシモ (ff) が出せなくなります。
リバーブ・レベル	[Tc]	1 OFF	コンサート・ホールで演奏しているような響きの深さを調節します。 数字が大きいくほど音の響きが深くなり、数字が小さいほど音の響きは浅くなります。
		2 1	
		3 2	
		4 3	
		5 4	
運指タイプ	[Ta]	1 Sax	運指の設定を切り替えます。 ➔ 運指については、「運指表」(巻末) をご覧ください。
			Sax サックス運指です。
		Recorder	リコーダー運指です。 一般的なリコーダーの運指にテーブル・キーを使用して音域を広げています。左右のサイド・キーを誤って押しても音が切り替わらないように、サイド・キーが無効になっています。
			電子吹奏楽器運指です。 一般的なサックスやリコーダーの「ドレミファソラシド」と同じ運指と、半音上げる／半音下げるキーの組み合わせになっています。
		E-Wind	1、2、3、4、5、6、C 一般的なサックスやリコーダーの「ドレミファソラシド」と同じ運指
			Tc、G#、C# 半音上げる
			Ta、Tf、Eb、B 半音下げる
			Bb 1音下げる
			➔ 「演奏キーの押さえかた」(P.6) をご覧ください。
		3 E-Wind	



メモ

専用アプリを使って、スマートフォンやタブレットから Aerophone GO の設定をすることができます。

➔ 「スマートフォンと連携して使う」(P.8) をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

Aerophone GO を工場出荷時の状態に戻すときは、以下の操作をします。

※ ファクトリー・リセットを実行すると、記録していた設定はすべて消えますので、ご注意ください。

1. [ON] スイッチを「[OFF]」にした状態で、[TONE] つまみを「[SETTING]」の位置にします。

2. オクターブ・キー「[UP]」「[DOWN]」の両方を押しながら、[ON] スイッチを「[ON]」にします。

短く連続して「ピツ」と音が鳴り、確認状態になります。

3. サム・ボタンを押します。

長く「ピーツ」と音が鳴り、設定を工場出荷時の状態に戻します。

4. 電源を入れ直してください。

これでファクトリー・リセットは完了です。

スマートフォンと連携して使う

こんなことができます

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器
(以降「スマートフォン」と呼びます)と連携して使うことができます。

- スマートフォンで再生した音楽に合わせて Aerophone GO を演奏する
(Bluetooth オーディオ機能)
- 専用アプリを使って Aerophone GO の設定をしたりアプリ音源を鳴らしたりする

※ 専用アプリは、iOS 製品と Android 製品に対応しています。
マスターチューニングの変更やリードをくわえる強さの基本状態の設定など、Aerophone GO をカスタマイズできます。

ペアリング

Bluetooth 機能を使って無線接続するには、初めに Aerophone GO とスマートフォンを 1 対 1 で接続する「ペアリング」が必要です。「ペアリング」は、使いたいスマートフォンに Aerophone GO を登録するための手続きです。



設定手順

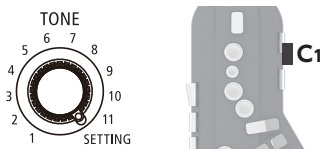
スマートフォンで再生した音楽に合わせて Aerophone GO を演奏する

1. スマートフォンを Aerophone GO 周辺に置きます。
2. Aerophone GO の [🔊] スイッチを [🔊] の位置にします。

Bluetooth LED が点滅します。

3. [TONE] つまみを [SETTING] の位置にして、C1 キーを長押しします。

Aerophone GO が、ペアリング開始状態になります。
ペアリングを開始すると、「ピッ」という音が 2 回鳴ります。



4. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



iOS 製品の画面例

5. スマートフォンの Bluetooth デバイス画面に表示されている「AE-05 Audio」をタップします。

Aerophone GO とスマートフォンがペアリングされます。モバイルデバイスの画面が以下のように表示されると接続完了です。

iOS 製品

「自分のデバイス」→「AE-05 Audio 接続済み」

Android 製品

「ペアリングされた機器」→「AE-05 Audio」

※ Bluetooth 接続を解除する場合は、Aerophone GO の [🔊] スイッチを [🔊] 以外の位置にするか、スマートフォンの設定で Bluetooth 機能をオフにします。

6. スマートフォンの音楽アプリで曲を再生します。

Aerophone GO のスピーカーから音が鳴ります。

※ 再生音量は、Aerophone GO 本体では調節できません。スマートフォン側の音量を調節してください。

スマートフォンから Aerophone GO の設定をしたりアプリ音源を鳴らしたりする

1. 専用アプリを、スマートフォンにインストールします。
アプリは、iOS 製品をお持ちの場合は App Store から、Android 製品をお持ちの場合は Google Play からダウンロードできます。
2. 専用アプリをインストールしたスマートフォンを Aerophone GO 周辺に置きます。
3. Aerophone GO の [🔊] スイッチを [🔊] の位置にします。
Bluetooth LED が点滅します。
4. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



iOS 製品の画面例

ご注意!

「デバイス」リスト (iOS) または「使用可能な機器」リスト (Android) に「AE-05」が表示されてもタップしないでください。

5. 専用アプリを起動し、画面表示に従ってペアリングします。

Bluetooth LED が点灯に変わったら接続完了です。

※ 専用アプリを使用しているときは、Bluetooth オーディオ機能はお使いいただけません。専用アプリの接続が優先されます。専用アプリ接続中はオーディオ接続できません。オーディオ接続中に専用アプリを接続すると、オーディオ接続を解除して専用アプリが接続します。

6. 専用アプリの画面表示に従って Aerophone GO を設定したり、アプリ音源を鳴らしたりします。

※ 専用アプリの音源を鳴らすときは、本体側の [VOLUME] つまみは MIN の位置でご使用ください。[VOLUME] つまみを上げていると、アプリ音源と本機の音が同時に鳴ります。

Bluetooth 接続できないときは？

確認事項／症状	対策
[ON] スイッチを「  」の位置にしているか	[ON] スイッチを「  」の位置にしてください。
スマートフォンの設定で Bluetooth 機能が「オン」になっているか	スマートフォンの設定で Bluetooth 機能を「オン」にしてください。 「オン」になっていても接続されない場合は、一度「オフ」にしてから再度「オン」にすると接続されることがあります。
スマートフォンから Aerophone GO を設定する場合	
接続手順 4 で、スマートフォンに表示された「AE-05」をタップしていないか	接続手順 4 で、スマートフォンに「AE-05」が表示されてもタップしないでください。タップした場合は、スマートフォンの登録をいったん解除して、Bluetooth 機能を「オフ」にし、再度「オン」にします。接続手順を再度 1 からお試しください。

Android 製品をお使いの場合

Aerophone GO の音をスマートフォンから鳴らしたときに、音が遅れて聴こえることがあります。

その場合は、Aerophone GO とスマートフォンを付属の USB ケーブル（マイクロ B またはタイプ C）を接続してお使いください。

➔ 「付属の USB ケーブルを接続する」(P.3) をご覧ください。



1. Aerophone GO の [ON] スイッチを、「ON」の位置にします。
2. 専用アプリを起動し、画面表示に従って操作します。

上記の内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。ローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

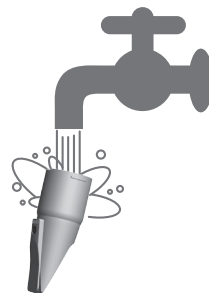
ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※ IP 電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に「0000」（ゼロ4回）をつけて NTT の一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。
※ 上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

マウスピースのお手入れ

通常のサックスのようなメンテナンスは必要ありません。演奏で汚れた場合は、マウスピースを取り外して水洗いし、柔らかい布で水滴が残らないように拭いてください。



マウスピースをはめるときは、図のように、凹凸が合うまでマウスピースを差し込んでください。



ご注意！

- 最後まで差し込まないと、リードをくわえる強さによって音色をコントロールすることができなくなります。
- マウスピースの着脱時は、パイト・バーを曲げないようにご注意ください。
- マウスピースの内側にあるネジで手をけがしないよう注意してください。
- マウスピースを取り付けるときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。市販のリコーダー・クリームを塗ると、着脱しやすくなります。



主な仕様

ローランド Aerophone GO (AE-05)： デジタル・wind・インストルメント

Bluetooth	Bluetooth 標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル：A2DP（オーディオ）、GATT（MIDI over Bluetooth Low Energy） 対応コーデック：SBC（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応）
電源	USB AC アダプター（別売） 充電式ニッケル水素電池単 3 形（別売）× 4
消費電流	400mA
電池の寿命（連続使用時）	充電式ニッケル水素電池： 約 10 時間（容量 1,900mAh 使用時） * 使用状態によって異なります * マンガン乾電池、アルカリ乾電池は使用不可
外形寸法	128（幅）× 78（奥行）× 454（高さ）mm
質量（電池含む）	695g
付属品	取扱説明書、保証書、ローランド ユーザー登録カード、マウスピース・キャップ、ネック・ストラップ、専用ハンド・キャリー・バッグ、バンド、USB ケーブル（電源用タイプ A、データ通信用マイクロ B、データ通信用タイプ C）
別売品	交換用マウスピース

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△ は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△ の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘ の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	● は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

ストラップを使用するときは首が絞まらないように取り扱いにご注意ください



Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、専用アプリで Auto Off 機能を解除してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

- ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・ 湯気や油煙が当たる場所
- ・ 塩害の恐れがある場所
- ・ 雨に濡れる場所
- ・ ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・ 振動や揺れの多い場所
- ・ 風通しの悪い場所



不安定な場所に置かない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



警告

異物や液体を入れない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- ・ 煙が出たり、臭いがしたりしたとき
- ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
- ・ 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



電池の取り扱いに注意する

間違った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などの危険があります。次のことに注意してください。

- ・ 加熱、分解したり、または火や水の中に入れたりしないでください。
- ・ 日光、炎、または同様の過度の熱にさらさないでください。
- ・ 充電電池／充電器は、必ず電池メーカーで指定された充電電池と充電器の組み合わせでお使いください。充電電池／充電器に付属の注意事項を必ず最後まで読み、注意事項を守って正しくお使いください。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



警告

上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



移動するときはすべての接続をはずす

ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。



電池を取り扱うときの注意

電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください。



- ・ 電池の+と-を間違えないように、指示どおり入れてください。
- ・ 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・ 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒にはさめたり、保管したりしないでください。
- ・ 使用済みの電池を捨てるときは、各地域のゴミ分別収集のしかたに従ってください。



指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などはさまないように注意してください。お子様を使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。



マウスピース (P.9)

液漏れした電池の取り扱いに注意する

- ・ 液は素手で触らないでください。
- ・ 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにきれいな水でよく洗い流したあと、直ちに医師に相談してください。
- ・ 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚にやけどや炎症を起こす恐れがあります。きれいな水でよく洗い流したあと、直ちに医師に相談してください。
- ・ 柔らかい布で電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



使用上のご注意

電池について

- 電池を入れる／取り出すときは、本機の電源を切り、他の機器との接続をはずしてください。
- 電池の消耗が著しいと音が歪みや弱くなる場合がありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、USB AC アダプターを使用してください。
- 電池で使用する場合は、充電式ニッケル水素電池を使用してください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 周囲に迷惑がからないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するとき、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
- その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏/パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <https://www.roland.com/jp/>

’16. 10. 01 現在（Roland）

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

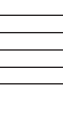
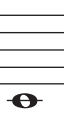
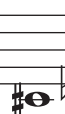
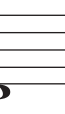
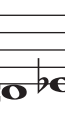
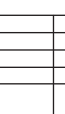
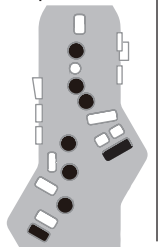
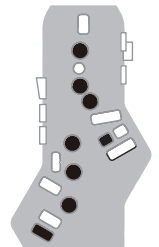
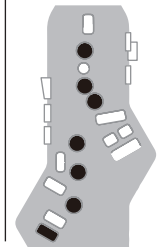
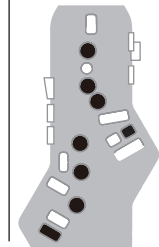
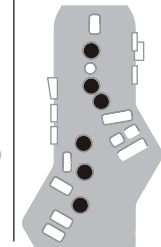
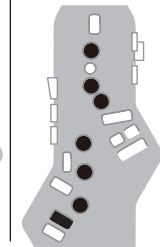
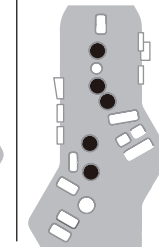
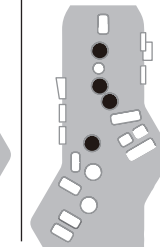
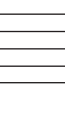
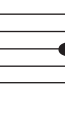
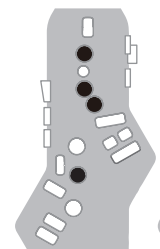
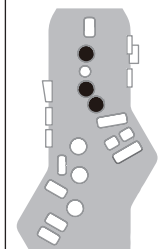
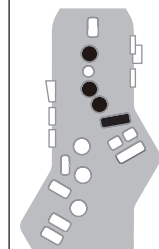
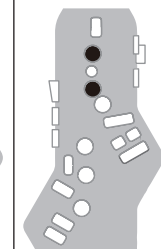
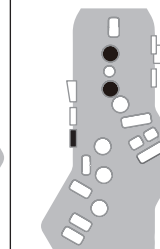
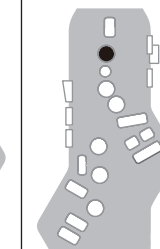
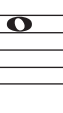
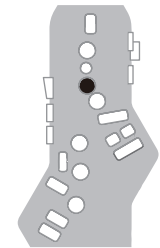
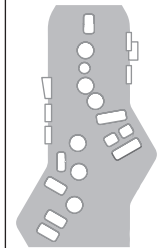
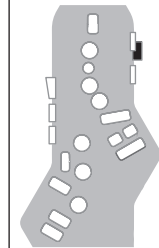
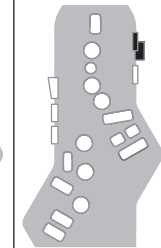
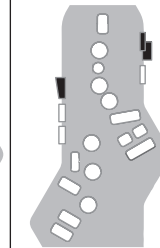
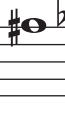
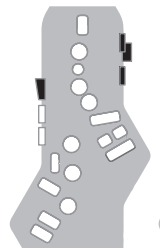
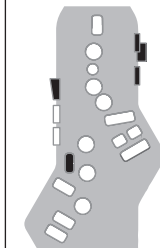
Español

Português

Nederlands

Fingering Chart / 運指表

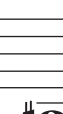
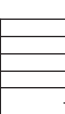
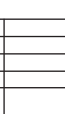
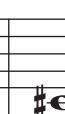
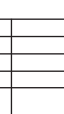
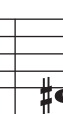
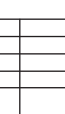
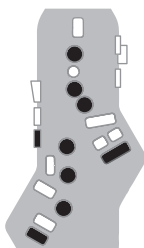
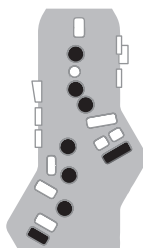
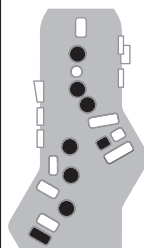
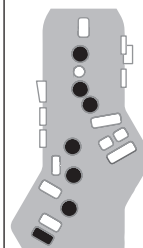
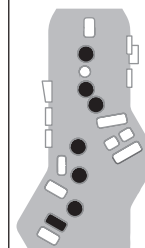
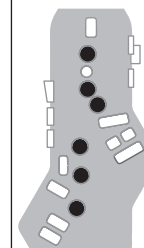
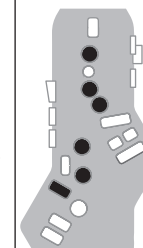
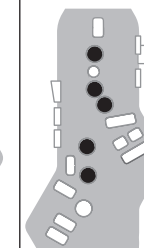
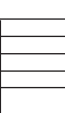
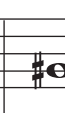
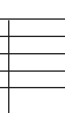
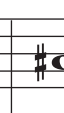
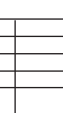
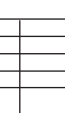
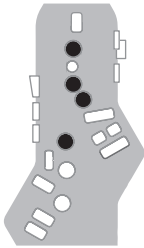
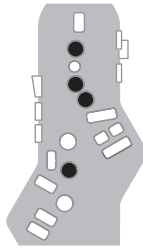
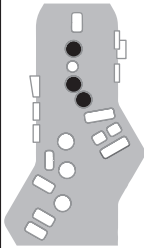
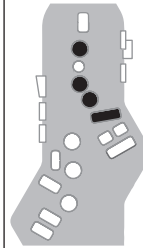
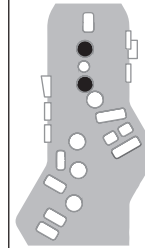
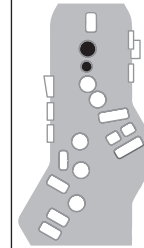
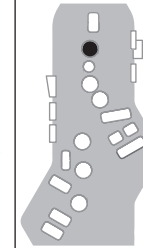
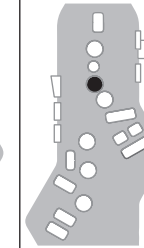
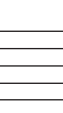
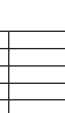
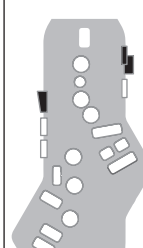
SAX fingering / サックス運指

A#3/B $\flat$ 3	B3	C4	C#4/D $\flat$ 4	D4	D#4/E $\flat$ 4	E4	F4
							
							
F#4/G $\flat$ 4	G4	G#4/A $\flat$ 4	A4	A#4/B $\flat$ 4	B4		
							
							
C5	C#5/D $\flat$ 5	D5	D#5/E $\flat$ 5	E5			
							
							
F5	F#5/G $\flat$ 5						
							
							

Recorder fingering / リコーダー運指

A#3/B $\flat$ 3	B3	C4	C#4/D $\flat$ 4	D4	D#4/E $\flat$ 4	E4	F4
F#4/G $\flat$ 4	G4	G#4/A $\flat$ 4	A4	A#4/B $\flat$ 4			
B4	C5	C#5/D $\flat$ 5	D5				

Electronic wind instrument fingering / 電子吹奏樂器運指

A3	A#3/B $\flat$ 3	B3	C4	C#4/D $\flat$ 4	D4	D#4/E $\flat$ 4	E4
							
							
F4	F#4/G $\flat$ 4	G4	G#4/A $\flat$ 4	A4	A#4/B $\flat$ 4	B4	C5
							
							
C#5/D $\flat$ 5	D5	D#5/E $\flat$ 5	E5	F5	F#5/G $\flat$ 5	G5	
							
							

“PERCUSSION” Assignment / 「PERCUSSION」 アサイン

When the [TONE] knob is set to select “11” PERCUSSION, you can use the fingering shown in the following table to play the corresponding sounds.
 [TONE] つまみで「11」PERCUSSIONを選んだときは、下表の運指で対応する音色を鳴らすことができます。

Fingering / 運指	Tone name / 音色名	
C3	Kick Drum	キック・ドラム
C#3	–	–
D3	Low Tom	タム
Eb3	–	–
E3	High Tom	タム
F3	Open Hi-hat	ハイハット・シンバル
F#3	–	–
G3	Closed Hi-hat	ハイハット・シンバル
Ab3	Triangle	トライアングル
A3	Ride Cymbal	ライド・シンバル
Bb3	Tambourine	タンバリン
B3	Snare Drum	スネア・ドラム
C4	Timpani C	ティンパニ
C#4	Timpani C#	
D4	Timpani D	
Eb4	Timpani D#	
E4	Timpani E	
F4	Timpani F	
F#4	Timpani F#	
G4	Timpani G	
Ab4	Timpani Ab	
A4	Timpani A	
Bb4	Timpani Bb	
B4	Timpani B	
C5	Timpani c	
C#5	Timpani c#	
D5	Timpani d	
Eb5	Timpani eb	
E5	Timpani e	
F5	Timpani f	
F#5	Low Bongo	ボンゴ
G5	High Bongo	
Ab5	Castanets	カステネット
A5	Cowbell	カウベル
Bb5	Cabasa	カバサ
B5	Maracas	マラカス
C6	Wood Block	ウッド・ブロック